

| 研究シーズ名 | | | | |
|-------------------|--|------------------|-----------------------------------|----|
| 運用保守支援によるシステム品質向上 | | | | |
| 分野 | ソフトウェア工学 システム運用管理・保守技術 | 所属学会 | 電子情報通信学会 日本ソフトウェア科学会 情報処理学会 | |
| キーワード | ソフトウェア保守開発支援, システム運用支援 | | | |
| 研究者名 | 名倉 正 剛 | NAGURA, Masataka | 職名 | 教授 |
| 所属 | 理工学部 ソフトウェア工学科 | 連絡先 | center-se@nanzan-u.ac.jp | |
| URL | https://porta.nanzan-u.ac.jp/research/ | | | |

| 概要 | |
|--|--|
| <p>分散アプリケーションサービスの保守開発と運用を支援するための方法を研究しています。運用時のログデータをはじめ、運用保守に関わるコミュニケーションデータ、さらには保守対象のソフトウェアのプログラムコードや開発プロセスデータ、それらの設定や構成に関する情報や、また必要に応じてテストや検証を実施した結果を分析することにより、運用手順や保守手順を支援し、そのコストを軽減することができるようにします。</p> <p>具体的には、運用時のログデータの発生パターンにより、分散アプリケーションサービスで障害が発生したときの原因特定を支援したり（分散アプリケーションサービスのデータセンター等を想定した運用管理の支援）、ソースコードの開発プロセスを分析することにより、バグが生じやすい開発パターンを特定し開発者に警告したり（保守開発の支援）する技術を提供しています。</p> | |
| 応用例 | |
| 企業システムの品質評価や、品質向上に応用可能です。 | |
| 共同研究・受託研究の実績 | |
| | |
| 特許関連・論文など | |
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 名倉正剛, 高田眞吾, “LAMP を対象にした運用中障害発生事例の調査”, 情報処理学会ソフトウェア工学研究会 (2018-SE-200) 論文集, 掲載予定, 2018 2. 田口健介, 名倉正剛, 高田眞吾, “ソフトウェア変更時のコーディング規約違反と不具合の共起傾向の調査”, 情報処理学会ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム 2018 論文集, pp. 200-207, 2018 3. R.Tajima, M.Nagura, S.Takada, “Detecting functionally similar code within the same project”, Proc.of the 12th Int’l Workshop on Software Clones (IWSC2018), pp. 51-57, 2018 4. 永井崇之, 名倉正剛, “迅速な危機回復を目的とする大規模環境向け障害原因解析システム”, 情報処理学会論文誌, Vol. 54, No. 3, pp. 1109-1119, 2013 5. 名倉正剛, 中島淳, 森村知弘, 工藤裕, “計算機システムを管理する管理システム及びその管理方法”, 特許 6009089 号, 2016 年 9 月登録 | |

お問合せ先
 南山大学理工学研究センター
 TEL:052-832-3278 E-mail: center-se@nanzan-u.ac.jp